

(参考)現在の庁舎について

市町村名	建設年度	敷地面積 (m ²)	述べ床面積 (m ²)	備考
川内市	昭和51年	7,276	9,053	本庁舎、別館(平成6年増設) 鉄筋コンクリート6階建て(一部4階建て)
樋脇町	昭和33年	1,704	1,996	議会棟(56,295 m ² 2階建て) 別館(平成3年400 m ² 3階建て)
入来町	昭和39年	1,294	1,645	鉄筋コンクリート2階建て
東郷町	昭和44年	4,680	1,846	本館 鉄筋コンクリート2階建 996 m ² 附属棟 鉄筋コンクリート平屋建 128 m ² 別館 鉄骨造2階建 722 m ² (平成6年増設)
祁答院町	昭和35年	6,089	2,047	鉄筋コンクリート2階建(昭和57年改築)
里村	昭和38年	3,460	853	平成5年増改築 鉄筋コンクリート2階建て
上甑村	昭和42年	7,557	1,438	鉄筋コンクリート2階建て(一部4階)
下甑村	昭和41年	1,841	1,753	本庁舎、鉄筋コンクリート2階建て(一部3階)
鹿島村	平成11年	4,359	2,323	鉄筋コンクリート3階建

出典 各市町村提出データ
平成14年4月1日現在

(参考) 先進例

都市名	経過
<p>北上市 平成3年4月1日 新設合併 (北上市・和賀町・江釣子村)</p>	<p>学識経験者9名で構成する小委員会を設置。事務所の位置は旧北上市役所。和賀町、江釣子村役場は支所とし、一部事務組合を除き当面は現状の組織。新庁舎は用地取得後、平成6年度から江釣子地区内に建設することで合併協定した。支所方式については、5年後分庁方式に移行した。庁舎の新築については財源の関係もあり行っていない。</p>
<p>ひたちなか市 平成6年11月1日 新設合併 (勝田市、那珂湊市)</p>	<p>事務所の位置は旧勝田市役所。分庁方式。那珂湊庁舎は支所に。本庁に企画管理部門及び支所が所管する区域(旧那珂湊市)以外の区域に関する事務を所掌。新庁舎の建設予定なし。合併により職員数は、合併時勝田市、那珂湊市の総数1,296名が平成13年度1,196名に100名減少した。那珂湊支所については、合併時242名いた職員は平成13年度23名(参事2名、総務課5名、税務課5名、市民課11名)となった。</p>
<p>あきる野市 平成7年9月1日 新設合併 (秋川市・五日市町)</p>	<p>6名からなる小委員会を設置。分庁方式。新庁舎は、平成12年度旧秋川市役所の位置に完成したが、あきる野市長は「市の地理的中心は五日市寄りだろうが、人口増の状況等を考えると今の位置がいい。もし庁舎を旧五日市に持ってきたら東にもう一つ役所を造らなければならなくなる」との理由。</p>
<p>篠山市 平成11年4月1日 新設合併 (篠山町・西紀町・丹南町・今田町)</p>	<p>任意協議会の早い時点で、「新庁舎の位置は、篠山町役場とする」旨決定したので、その後の協議も円滑に行われた。篠山町を除く他の3町役場を支所とし、従来の支所と合わせて5支所に。各支所には地域振興、住民、福祉、業務管理、収納の5担当を設置。それぞれの支所には、本庁が直轄する現地事務所(農林、建設及び企業関係)を設置していたが、住民から仕事量に比して人数が多すぎるとの意見がでたことから、現地事務所を統合し、支所は窓口業務に限定した。支所の職員は西紀町74人が9人に、丹南町169人が21人に、今田町66人が9人に減少している。</p>
<p>西東京市 平成13年1月21日 新設合併 (田無市・保谷市)</p>	<p>当面、新市庁舎の建設は行わず、事務所の位置を旧田無市役所とし、これを「田無庁舎」、旧保谷市役所を「保谷庁舎」と呼称するとともに、都市整備部・教育委員会等は保谷庁舎に配置した。</p>